

スキーの過去から未来を披露

スキー日本伝来百周年イベント

スキー日本伝来百周年メモリアルイベントin夏油高原は16日、夏油高原スキー場で行われました。

今年、オーストリア・ハンガリー帝国のデオドル・フォン・エドレル・レルヒ少佐が日本にスキーを伝えてから100年になるのを記念して開催され、スキー伝来当時のはかま姿のスキーの再現や現代のスキー、最新のスロープスタイルスキーなどをデモンストレーション。ゲレンデで過去から現代、未来のウィンタースポーツを表現し記念の年を祝いました。

はかま姿のスキーを再現したみちのくレディーズ・スキークラブ(筆石町)



大勢の観客が見守る中、4演目を披露した鬼柳鬼剣舞

まつり50周年の機運高める

芸能まつり50周年200日前イベント

北上・みちのく芸能まつり50周年200日前イベントは16日、江釣子ショッピングセンター・パルで行われました。

市民一体となる同まつりの機運を高めるため開催し、宿大乘神楽など市内外の芸能団体5団体が公演。各芸能団体は伝統の舞を披露し、今年8月、50周年を迎えるまつりを多くの買い物客にアピールしました。

また、写真展「ポスター・写真でみる芸能まつり50年史」も22日まで開催されました。

百歳を迎えおめでとう

高橋モトさん

特別養護老人ホームいいとよに入所している高橋モトさんが百歳を迎え12月27日、伊藤市長が訪問して祝い状と記念品を贈りました。

高橋さんは明治43年12月27日鬼柳町に生まれ、故好太郎さんと結婚。子ども5人、孫6人、ひ孫9人に恵まれています。生け花や踊りが好きで、特に踊りは80歳になっても、イベントなどで披露していたそうです。長男の渉さん(九年橋)は「元気なのは皆さんのおかげです」と感謝していました。

施設職員から踊りの披露やお祝いを受けた高橋さん(中央)



家族や入所者、施設職員が集まる中、お祝いを受けた工藤さん(中央)

工藤キクノさん

特別養護老人ホームさくら爽に入所している工藤キクノさんが百歳を迎え24日、伊藤市長が訪問して祝い状と記念品を贈りました。

工藤さんは明治44年1月22日生まれ。22歳で故長松さんと結婚し、子ども4人、孫9人、ひ孫18人、やしゃご6人に恵まれています。ゲートボールが好きで、全国大会に出場したこともあったそうです。三男の萬蔵さん(常盤台)は「これからも元気で長生きしてほしい」と喜んでいました。

女性の視点で課題を問う

女性模擬議会

3年ぶりの開催となる女性模擬議会は14日、市議会会議場で行われました。きたかみ市各種女性団体協議会長の伊藤智雅子さんが議長を務め、議員には同協議会の6団体から選ばれた30人が当たりました。

一般質問には、谷地敏範子さん(北上市地域婦人団体協議会)、千田美智子さん(北上地区更生保護女性の会)、菊池紘子さん(北上地方生活研究グループ連絡協議会)、斉藤扶久子さん(JAいわて花巻女性部北上地域支部)の4人が登壇しました。

本番さながらの女性模擬議会。密着した質問が相次ぎました。生活に



サトイモなどに見立てた「なりもの」を飾り付ける参加者

一年の五穀豊穡を祈願

二子町で小正月行事

二子町鳥喰自治会は9日、恒例の小正月行事を行いました。

子どもからお年寄りまで地域住民約100人が参加。雪中田植えや「なりもの」と呼ばれるワラ細工の飾り付けなどを行いました。

この行事は、昭和56年から開催され、今回で31回目。カボチャやキュウリのほか二子町特産のサトイモに見立てたなりものを制作して、田んぼの一面に立てたくいに飾り付け、五穀豊穡を祈願しました。

子どもに伝える3つのこと

思春期保健講演会

思春期保健講演会「魔法のように子どもが変わる！～子どもの心のコーチング～」は14日、生涯学習センターで行われました。

講師はNPO法人ハートフルコミュニケーション代表の菅原裕子さん。菅原さんは「子どもには、自分が愛されていること・責任、原因と結果から子どもは学んでいくということ・人の役に立つ喜びを教えることの3つを伝えることが大切」と話し、参加者は熱心に聞き入っていました。

子どもが幼いころから教えることが大切と話す菅原さん



菅原さんに松飾り作りを教えてもらう親子

伝統的な正月行事を学ぶ

冬休み子ども体験学習会

冬休み子ども体験学習会は12月26日、農業科学博物館で行われました。

北上・花巻市の小学生とその親21人が参加。花巻市の菅原兼男さん(91歳)が講師を務め、昔から伝わる正月を迎えるための松飾り作りを親子で体験し、伝統的な正月行事に理解を深めていました。

参加した阿部樹君(黒沢尻北小4年)は「縄を二本から一本にするのが難しかったけど、楽しかった」と笑顔で話していました。